



お茶の京都 宇治やんたんライナーの運行について
～宇治から宇治田原を周遊できる観光ループバスを運行します～

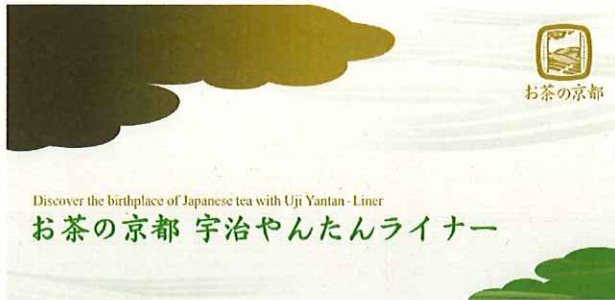
令和3年10月8日
お茶の京都DMO
京都京阪バス株式会社
宇治市
宇治田原町

お茶の京都 DMO の企画により、DMOと宇治市、宇治田原町、京都京阪バスが連携し、本年10月9日から12月12日の土日祝日に、JR 宇治駅、京阪宇治駅から萬福寺、平等院を經由し宇治茶の郷や湯屋谷(やんたん)を結ぶ観光ループバス「お茶の京都 宇治やんたんライナー」を別紙内容のとおり、運行いたしますのでお知らせします。

本事業についてのお問合せ

お茶の京都DMO(事業全般) 0774-25-3239(代表)
京都京阪バス(運行・ダイヤ) 075-972-0501(京都京阪バス株式会社八幡営業所)
宇治市観光振興課(市の観光について) 0774-39-9408(直通)
宇治田原町産業観光課(町の観光について) 0774-88-6638(直通)

お茶の京都 宇治やんたんライナーの 運行について



2021年秋

お茶どころ宇治と宇治田原をめぐる旅を便利にサポートする
宇治やんたんライナーを運行します。

本事業は、お茶の京都DMOが企画コーディネートし、
京都京阪バス、宇治市、宇治田原町の4者で連携して取り組む
事業です。

2021年10月8日

お茶の京都DMO
京都京阪バス株式会社
宇治市
宇治田原町

事業趣旨

お茶の京都の玄関口であり、エリアを代表する観光地である宇治市と宇治茶の主要生産地である宇治田原町をつなぐ「宇治やんたんライナー」を運行し、多くの観光客に、より深く宇治茶を体感し魅力を感じていただくことにより、新たな観光誘客の流れを作る。

事業背景

宇治田原には、宗円交遊庵やんたん、永谷宗円の生家やJA京都やましろ農産物直売所宇治茶の郷など、「宇治茶」をより深く感じ、魅力的な観光拠点があるものの、従来から交通アクセスが大きな課題であった。そのため、令和2年度の秋に試行したところ好評であった。この時期に、このエリアをバスが運行しているということ定着させ、定番ルートとして期待できる。

事業概要

宇治～宇治田原町周遊バス「宇治やんたんライナー」の運行

秋の観光シーズンの土日祝日限定で駅と観光拠点を周遊するバスの運行

運行期間：令和3年10月9日（土）～12月12日（日）土日祝日のみ22日間

宇治湯屋谷線
お茶の京都 **宇治やんたんライナー**

期間限定運行



宇治田原方面へ		9:30	10:30	11:35	12:35	14:50	15:50
JR宇治駅							
京阪宇治駅		9:34	10:34	11:39	12:39	14:54	15:54
黄檗公園【萬福寺前】		9:41	10:41	11:46	12:46	15:01	16:01
平等院【南門前】		9:55	10:55	12:00	13:00	15:15	16:15
郷之口【宇治茶の郷前】		10:13	11:13	12:18	13:18	15:33	16:33
維中前		10:16	11:16	12:21	13:21	15:36	16:36
宇治田原郵便局前		10:21	11:21	12:26	13:26	15:41	16:41
湯屋谷【やんたん前】		10:22	11:22	12:27	13:27	15:42	16:42
宇治田原方面から		10:30	11:30	13:45	14:45	15:50	16:50
湯屋谷【やんたん前】							
宇治田原郵便局前		10:31	11:31	13:46	14:46	15:51	16:51
維中前		10:37	11:37	13:52	14:52	15:57	16:57
郷之口【宇治茶の郷前】		10:40	11:40	13:55	14:55	16:00	17:00
平等院【南門前】		10:59	11:59	14:14	15:14	16:19	17:19
黄檗公園【萬福寺前】		11:12	12:12	14:27	15:27	16:32	17:32
京阪宇治駅		11:20	12:20	14:35	15:35	16:40	17:40
JR宇治駅		11:23	12:23	14:38	15:38	16:43	17:43



	520	240	230	湯屋谷(やんたん前)
				宇治田原郵便局前
450	460	410	230	維中前
430	440	370		郷之口(宇治茶の郷前)
				平等院
	230			黄檗公園(萬福寺前)
				京阪宇治駅
				JR宇治駅

運賃 (円)

1 day ticket 1,000円（各観光案内所で販売）

お茶の京都DMO、宇治市、宇治田原町のキャラクターをあしらった木製1day ticket を各観光案内所で販売いたします。1,000円（数量限定）



サービス内容

宇治やんたんライナー 1日乗り放題、宇治～宇治田原を結ぶ路線バスに限り利用可能さらに、1 day ticket を各施設でご提示いただくと、様々な特典があります。

宗円交遊庵やんたん

- ・「ほうじ茶チョコ」か「抹茶チョコ」プレゼント
- ・宇治市内障害福祉サービス事業所の製品（焼き菓子）プレゼント
- ・宗円生家までのガイドサービス（11:15～/13:00～）

永谷宗円生家

- ・「一煎バック」プレゼント

JA農産物直売所宇治茶の郷

- ・「一煎バック」プレゼント
- ・1,000円以上購入の方に抹茶ソフトプレゼント

宇治市営茶室「対鳳庵」

- ・薄茶か煎茶の割引

お茶と宇治のまち歴史公園ミュージアム「茶づな」

- ・入館料金割引



運行エリアの主な観光スポット

禅宗「黄檗宗」の大本山

江戸初期に渡来した中国僧隠元によって寛文元年（1661年）に開創。境内には中国式の巨大な伽藍が建ち並び、異国情緒にあふれている。中国風精進料理「普茶（ふちゃ）料理」や唐韻で読まれるお経「梵唄（ぼんばい）」など、当時の文化にも触れることができる。

黄檗ほていまつり（毎月8日（2月・8月は休み）、手作り市など）

運行期間中の11月21日（日）伝説の茶農家・茶商によるプレミアム大茶会の開催が予定されている。



黄檗山萬福寺

藤原一族の栄華を今に伝える平等院

宇治川の西岸にあった源融の別荘を藤原道長が譲り受け、その子頼通が寺に改めたもの。平安時代の庭園の名残を伝える阿字池に浮かぶ鳳凰堂（国宝）は極楽浄土を思い描いた平安貴族が惚れる。10円玉の図案としてお馴染み。また、宝物館鳳翔館では国宝の鳳凰・雲中供養菩薩・梵鐘をはじめ平等院の宝物を中心に展示するとともに、最新デジタル技術を用いたコンピュータグラフィックスによる復元映像なども楽しめる。



平等院

選りすぐりの宇治茶がずらり。カフェスペースでお茶も楽しめる

日本煎茶の祖・永谷宗円出生の地、宇治田原町にあるJA直売所。宇治茶はもちろん、新鮮野菜など地元産品のお買い物も楽しめる。併設されているカフェスペースでは、上質のお茶や濃厚な抹茶ソフトクリームを味わえるのでぜひ立ち寄って。



JA京都やましろ農産物直売所「宇治茶の郷」

宗円交遊庵やんたん

ハートの形のまち・宇治田原町で「やんたん」と呼ばれる「湯屋谷」地域は、江戸時代に「永谷宗円」が日本緑茶の製法を編み出したお茶のふるさとです。山あいの細い谷筋に茶問屋や茶農家が軒を連ね、日本遺産にも認定される歴史ある里。そんな湯屋谷の製茶工場跡をリノベーションして誕生した「宗円交遊庵やんたん」は、湯屋谷に暮らす人たちが手づくりでもてなす、ハートウォーミングな交流拠点です。



宗円交遊庵やんたん

正寿院

本尊は秘仏 十一面観音（町指定文化財）で50年に1度だけご開扉される

正寿院の創建は約800年前と伝わり、慶長年間に祐胤（ゆういん）という僧が中興されたと資料として残っている。本尊は秘仏 十一面観音（町指定文化財）、50年に1度だけご開扉される不動明王坐像（国指定重要文化財 鎌倉時代快慶作）がおられる。客殿には猪目窓（いのめまど）というハート型の窓があり、猪目文様は災いを除き、福を招く意があることから、良縁祈願や幸せを呼ぶ窓として女性をはじめ、多くの方がおまいりされる。また数珠づくり（通年）や写経・写仏（通年）、庭を見ながらヨガやお茶会など、季節に応じて様々な体験が催されている。（事前に要予約）



正寿院

永谷宗円生家

煎茶生誕の歴史を伝える永谷宗円の誕生の地

日本緑茶の祖と呼ばれる永谷宗円は、宇治田原町湯屋谷生まれ。元文3年（1738年）に、新芽の茶葉を蒸し、焙炉（ほいろ）と呼ばれる器具の上で茶葉を手揉み乾燥させる青製煎茶製法をこの地で考案し、現在の日本緑茶製法の礎を築きました。復元された生家の内部には、製茶道具や当時の焙炉跡が保存され、土曜、日曜、祝日は内部を公開しています（平日は要問合せ）。車の場合は、湯屋谷会館横の駐車場が利用でき、生家までは徒歩14分。日本遺産に認定された湯屋谷の街並みを堪能しながら歩くことができます。



永谷宗円生家

運行に関するお問い合わせ：京都京阪バス(株)
管理部業務課075-981-8800（平日のみ）
八幡営業所075-972-0501